

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第29期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社ハーバー研究所
【英訳名】	HABA LABORATORIES, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 菅原 壽憲
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田須田町一丁目24番地
【電話番号】	03-5296-6250（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務・経理部担当ディレクター 古俣 徳康
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田須田町一丁目24番地
【電話番号】	03-5296-6250（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務・経理部担当ディレクター 古俣 徳康
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第3四半期連結 累計期間	第29期 第3四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	8,773,353	9,936,678	11,809,979
経常利益(千円)	62,182	580,075	626,762
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	231,428	394,724	22,127
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	241,047	398,824	33,080
純資産額(千円)	5,031,083	5,581,674	5,286,939
総資産額(千円)	12,633,753	14,866,422	12,640,350
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	58.82	100.34	5.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.7	37.5	41.6

回次	第28期 第3四半期連結 会計期間	第29期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	11.13	104.58

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 第29期第3四半期連結累計期間及び第28期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。第28期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。
3. 売上高には、消費税等は含まれていません。
4. 第28期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約の詳細については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」及び「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりです。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

（1）業績の状況

当第3四半期の当社グループ連結売上高は、本年6月に卸売りを中心とした株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスを買収し本年度第2四半期から連結経営成績に反映させたため、9,936,678千円（前年同期比113.3%）と増加しました。

本年度は、ハーバーの化粧理論の原点に立ち返り、スクワランを中心とした基本3品と無機顔料メイク（ミネラルカラーメイク）の正しい使い方の普及に努めております。その結果、品目別売上高では、化粧水、スクワランが増加し、基礎化粧品全体で5,843,579千円（前年同期比102.4%）、メイクアップ化粧品は1,014,074千円（前年同期比106.7%）と増加しました。トイレットリーは495,848千円（前年同期比114.6%）、栄養補助食品・雑貨等は2,349,787千円（前年同期比165.5%）と大幅に増加しました。

販売ルート別売上高では、通販で既存客の購入件数が減少したものの購入単価が上昇し、6,246,623千円（前年同期比101.3%）と増加、百貨店は936,817千円（前年同期比95.9%）、その他卸売りは2,056,956千円（前年同期比234.2%）と大幅に増加しました。直営店は595,304千円（前年同期比92.4%）となっております。

売上原価は、卸売りの売上比率の増加により2,451,841千円（前年同期比151.8%）となりました。

広告販促費は、前年度に各種媒体を通じ「リフトアップセラム無料モニターキャンペーン」で積極的な攻勢を仕掛けましたが、本年度は折込チラシ広告を中心としたことにより2,248,518千円（前年同期比78.9%）と減少、販売費及び一般管理費合計で6,881,226千円（前年同期比97.4%）となっております。

これらの結果、営業利益は603,610千円、経常利益は580,075千円、本社移転と店舗閉鎖及び移転に伴う固定資産除却損31,775千円、固定資産売却損13,698千円など合計59,823千円を特別損失として計上、四半期純利益は販売子会社吸収合併により承継した繰越欠損金の利用等により394,724千円となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、111,707千円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（4）従業員数

当第3四半期連結累計期間において、株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスの株式取得による子会社化等により、従業員数87名が増加しています。

なお、従業員数は就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）です。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、株式会社エイチプラスビィ・ライフサイエンスの株式取得による子会社化により、生産及び販売実績が増加しています。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループの売上高の約9割は化粧品などの売上です。景気の先行きが不透明であり、化粧品業界全体では、市場規模の伸び悩み、消費者ニーズの多様化、価格の二極化、新規参入企業の増加などにより、当社を取り巻く経営環境はますます厳しさを増しています。

このような経営環境のもと、当社グループが安定的に成長するには、新規顧客を効率的に増やしていくこと及び研究開発に力を入れ多様化した消費者ニーズに対応し顧客満足度の高い商品・サービスを提供していくことが重要と考えています。

(7) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資金の状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は3,095,000千円となり、前連結会計年度末に比べ、56,485千円減少しました。

財政状態の分析

当社グループは、本年6月に株式会社エイチプラスビィ・ライフサイエンスを買収したため、同社を連結子会社として連結貸借対照表を作成しており、このため、総資産、負債合計が増加しました。

そのため、当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,866,422千円となり、前連結会計年度末と比較して2,226,072千円の増加となりました。また、負債合計は9,284,747千円となり、前連結会計年度末と比較して1,931,336千円の増加となりました。純資産は5,581,674千円となり、前連結会計年度末と比較して、294,735千円の増加となりました。

(8) 経営者の問題認識と今後の方針について

当社グループは、平成23年10月に当社と販売子会社6社を統合しました。営業戦略や広告販促企画と商品発注及び在庫管理業務を本社に集中したほか、広島県福山市にコールセンター兼物流センターを設立し、コールセンターは千歳と福山、物流拠点は多古と福山の2拠点体制を整えました。今後は、2拠点の体制のいっそうの整備、販売および在庫情報に基づく効率的な生産体制の確立に向け、合理的な人的、物的資本の運用を図ります。

マーケティングにおいては、当社美容理論の原点である「洗顔」「うるおい」「保護」の3ステップと化粧品の正しい使い方を明確かつ継続的に発信し、顧客数の安定的な増加を実現いたします。インターネットでは情報発信とコミュニケーションを強化し、20~30歳代を中心とした新規顧客獲得と固定化に努めます。卸売り事業においては、セルフ店向けはハーバーブランドの販売促進を重視するほか、当社グループの商品開発力、営業力を戦略的に活用し、他社との共同開発、P B商品やO E M事業への積極的な取り組みを図ります。海外展開については、戦略的な商品開発により新市場を開拓してまいります。

長期的かつ安定的な成長のためには、人材育成が重要な課題であり、的確な配置と教育研修を徹底し、多才な営業力を持つ人材、リーダーシップ豊富な人材の育成強化に力を入れていきます。

コンプライアンスの面では、内部統制をより一層充実させ、社会やステークホルダーの皆様から信頼を得られる企業を目指します。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,935,000	3,935,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,935,000	3,935,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	3,935,000	-	696,450	-	812,570

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,933,400	39,334	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	3,935,000	-	-
総株主の議決権	-	39,334	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ハーバー研究所	東京都千代田区神田 須田町一丁目24番地	1,100	-	1,100	0.03
計	-	1,100	-	1,100	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,177,679	3,142,098
受取手形及び売掛金	1,061,574	1,690,137
商品及び製品	1,104,678	1,314,961
仕掛品	85,603	96,495
原材料及び貯蔵品	521,411	668,279
繰延税金資産	344,229	288,612
その他	155,351	425,455
貸倒引当金	15,108	23,759
流動資産合計	6,435,420	7,602,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,352,207	4,031,667
減価償却累計額	1,432,139	1,574,073
建物及び構築物(純額)	1,920,068	2,457,594
機械装置及び運搬具	971,994	1,128,363
減価償却累計額	782,494	959,290
機械装置及び運搬具(純額)	189,499	169,072
工具、器具及び備品	588,724	943,050
減価償却累計額	475,780	665,048
工具、器具及び備品(純額)	112,943	278,002
土地	2,441,829	2,593,698
リース資産	-	9,706
減価償却累計額	-	2,426
リース資産(純額)	-	7,279
建設仮勘定	405,309	22,263
有形固定資産合計	5,069,650	5,527,911
無形固定資産		
のれん	510,350	1,028,694
その他	73,836	80,624
無形固定資産合計	584,187	1,109,319
投資その他の資産		
繰延税金資産	135,040	307,004
その他	416,051	427,941
貸倒引当金	-	108,035
投資その他の資産合計	551,091	626,910
固定資産合計	6,204,929	7,264,141
資産合計	12,640,350	14,866,422

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366,073	924,038
短期借入金	2,240,000	2,940,000
1年内返済予定の長期借入金	818,274	862,266
未払金	461,740	861,755
未払法人税等	482,481	30,261
賞与引当金	88,660	30,976
ポイント引当金	125,274	125,500
その他	156,631	153,043
流動負債合計	4,739,135	5,927,841
固定負債		
長期借入金	2,414,734	2,869,200
退職給付引当金	75,628	259,481
役員退職慰労引当金	67,100	1,583
その他	56,812	226,640
固定負債合計	2,614,275	3,356,905
負債合計	7,353,411	9,284,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	3,757,969	4,074,016
自己株式	824	824
株主資本合計	5,266,164	5,582,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,955	537
その他の包括利益累計額合計	3,955	537
少数株主持分	24,730	-
純資産合計	5,286,939	5,581,674
負債純資産合計	12,640,350	14,866,422

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,773,353	9,936,678
売上原価	1,614,997	2,451,841
売上総利益	7,158,356	7,484,837
販売費及び一般管理費	7,065,794	6,881,226
営業利益	92,561	603,610
営業外収益		
受取利息	1,112	1,405
受取配当金	347	201
受取賃貸料	30,816	22,067
保険解約返戻金	7,549	20,497
その他	8,343	11,874
営業外収益合計	48,169	56,047
営業外費用		
支払利息	58,817	64,886
その他	19,731	14,695
営業外費用合計	78,548	79,582
経常利益	62,182	580,075
特別利益		
固定資産売却益	325	813
移転補償金	14,500	-
受取補償金	10,000	-
その他	2,106	-
特別利益合計	26,931	813
特別損失		
固定資産売却損	-	13,698
固定資産除却損	17,502	31,775
投資有価証券売却損	-	6,054
たな卸資産廃棄損	48,993	5,791
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,863	-
固定資産臨時償却費	29,202	-
その他	2,151	2,503
特別損失合計	147,713	59,823
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	58,598	521,064
法人税、住民税及び事業税	503,672	139,980
法人税等調整額	321,902	13,639
法人税等合計	181,770	126,340
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	240,369	394,724
少数株主損失()	8,941	-
四半期純利益又は四半期純損失()	231,428	394,724

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	240,369	394,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	677	4,100
その他の包括利益合計	677	4,100
四半期包括利益	241,047	398,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,164	398,142
少数株主に係る四半期包括利益	8,882	681

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(連結範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、株式取得に伴い株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスを連結の範囲に含めています。また、第2四半期連結会計期間において、株式会社ノースジェニシスがハーバー株式会社の子会社として設立されましたので連結の範囲に含めています。 当第3四半期連結会計期間において、株式会社銀座ハーバー、株式会社中部ハーバー、株式会社関西ハーバー、株式会社四国ハーバー、株式会社中国ハーバー、株式会社九州ハーバーは提出会社に吸収合併されたことにより解散したため、連結の範囲より除外しています。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(税金費用の計算) 一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。 (法人税率の変更等による影響) 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、当第3四半期連結会計期間の繰延税金資産及び繰延税金負債は、一時差異の解消が見込まれる連結会計年度に対応した改正後の税率を基礎とした法定実効税率により計算しています。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は29,190千円減少し、法人税等調整額は29,148千円増加しています。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費 245,443千円	減価償却費 267,225千円
のれんの償却額 56,525	のれんの償却額 180,865

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月24日 取締役会	普通株式	78,680千円	20円	平成22年3月31日	平成22年6月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月11日 取締役会	普通株式	78,676千円	20円	平成23年3月31日	平成23年6月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

共通支配下の取引等

当社は、平成23年10月1日付で、当社の完全子会社である株式会社銀座ハーバー、株式会社中部ハーバー、株式会社関西ハーバー、株式会社四国ハーバー、株式会社中国ハーバー及び株式会社九州ハーバーの6社を吸収合併いたしました。当該合併の概要は次のとおりです。

1. 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合の法的形式及び結合後の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

株式会社ハーバー研究所 化粧品及び健康食品等の販売
株式会社銀座ハーバー 化粧品及び健康食品等の販売
株式会社中部ハーバー 化粧品及び健康食品等の販売
株式会社関西ハーバー 化粧品及び健康食品等の販売
株式会社四国ハーバー 化粧品及び健康食品等の販売
株式会社中国ハーバー 化粧品及び健康食品等の販売
株式会社九州ハーバー 化粧品及び健康食品等の販売

(2) 企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社銀座ハーバー、株式会社中部ハーバー、株式会社関西ハーバー、株式会社四国ハーバー、株式会社中国ハーバー、株式会社九州ハーバーは解散いたしました。

(3) 取引の目的を含む取引の概要

取引の目的

当社グループは、化粧品の製造販売と栄養補助食品等の販売を主な事業としております。

当社グループの国内通信販売は、販売子会社7社体制であり、各社がそれぞれの営業地域において、商品受注、発送、広告宣伝、販売促進等の営業活動全般を担っております。この体制は、化粧品という商品特性上、同じ季節でも、地域によって販売商品や使用方法に相違があることから、地域に密着したカウンセリングや地域特性にあわせた広告宣伝・販売促進活動が有効な販売戦略であること、また戦略の迅速な意思決定を行えることから、適切な体制でありました。

完全子会社の販社を当社に吸収合併する目的は、各拠点における地域密着型営業活動に関するノウハウが確立したことから、これを基礎としつつも、より高度な営業戦略実施するために広告宣伝・販売促進企画を本社に集中かつ一元化を図ることと、受発注、管理業務及び配送業務の統合、資金運用の一元化などによる人的、物的資本の効率化を図るためであります。

取引の概要

合併期日 平成23年10月1日

合併の方法 完全子会社との合併のため、合併による株式その他対価の交付は行いません。また、合併による新株予約権及び新株予約権付社債はありません。

被合併会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取り扱い

該当事項はありません。

引継資産・負債の状況

本合併の効力発生日において、当社は(株)銀座ハーバー、(株)中部ハーバー、(株)関西ハーバー、(株)四国ハーバー、(株)中国ハーバー、(株)九州ハーバーの資産及び負債並びにこれらに付随する全ての権利義務を引き継いでいます。

吸収合併存続会社となる会社の商号・資本金・事業の内容

商号 : (株)ハーバー研究所

資本金 : 696,450千円

事業内容 : 化粧品及び健康食品等の販売

2. 会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	58円82銭	100円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	231,428	394,724
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	231,428	394,724
普通株式の期中平均株式数(株)	3,933,875	3,933,823

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

連結子会社の事業譲受

当社は、平成23年12月12日の取締役会決議に基づき、完全子会社である株式会社京都ハーバーと事業譲渡契約を締結し、平成24年2月6日をもって同社の全事業を譲り受けています。

(1)事業譲受の理由

当社は、平成23年10月1日付で、当社の完全子会社である6販社を吸収合併しました。いっそうの営業力強化のために当社の完全子会社である株式会社京都ハーバーの全事業を譲り受け、国内販売業務の本社一本化を図ることとしました。

(2)事業譲渡会社の名称 株式会社京都ハーバー

(3)譲受対象事業 化粧品及び健康食品等の販売

(4)譲受価格 譲受財産の対価は譲受日における株式会社京都ハーバーの純資産額

(ご参考 株式会社京都ハーバー平成23年12月31日純資産額 167,285千円)

(5)譲受の日程

取締役会決議日 平成23年12月12日

事業譲受日 平成24年2月6日

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月14日

株式会社ハーバー研究所
取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員 公認会計士 加賀美 弘明
業務執行社員

指定社員 公認会計士 齋藤 晃一
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハーバー研究所の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハーバー研究所及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。